

日本債券ベアファンド (5倍型)

第7期運用報告書（全体版） (決算日 2020年4月13日)

お客様へ

毎々格別のお引立てにあずかり厚く御礼申し上げます。

さて、「日本債券ベアファンド（5倍型）」は、2020年4月13日に第7期決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後ともより一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／国内／債券／特殊型(ブル・ベア型)
信託期間	2013年4月10日から2024年3月15日までです。
運用方針	わが国の長期債市場全体の値動きの5倍程度反対の投資成果を目標として運用を行います。
主要運用対象	主として円建ての短期公社債等の短期有価証券を中心に、コールローン等にも投資するとともに、わが国の長期国債標準物を対象とする国債証券先物取引の売建額が、原則として信託財産の純資産総額の5倍程度になるように調整を行います。
組入制限	株式への投資は、転換社債の転換により取得したもの等に限りに、信託財産の純資産総額の30%以下とします。
分配方針	分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。

T&Dアセットマネジメント株式会社

〒108-0014 東京都港区芝5-36-7

お問い合わせ先

投信営業部 03-6722-4810

(受付時間：営業日の午前9時～午後5時)

<https://www.tdasset.co.jp/>

最近5期の運用実績、基準価額の推移等

最近5期の運用実績

決算期	基準価額			債券 組入比率	債券 先物比率	純資産 総額
	(分配落)	税金 込 み 金	騰 落 率			
	円	円	%	%	%	百万円
3期 (2016年4月11日)	6,326	0	△ 16.7	—	△ 500.5	3,242
4期 (2017年4月11日)	6,324	0	△ 0.0	55.4	△ 500.6	3,792
5期 (2018年4月11日)	6,079	0	△ 3.9	—	△ 499.8	3,625
6期 (2019年4月11日)	5,622	0	△ 7.5	—	△ 501.5	3,323
7期 (2020年4月13日)	5,685	0	1.1	—	△ 501.3	3,371

(注) 基準価額および分配金は1万口当たり。基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 先物比率=買建比率-売建比率

(注) 当ファンドは、比較対象として適切なものがないため、ベンチマークおよび参考指数を設定していません。

当期中の基準価額等の推移

年月日	基準価額		債券 組入比率	債券 先物比率
	騰 落 率	騰 落 率		
期首 (前期末)	円	%	%	%
2019年4月11日	5,622	—	—	△ 501.5
4月末	5,657	0.6	—	△ 500.3
5月末	5,567	△ 1.0	—	△ 499.7
6月末	5,441	△ 3.2	—	△ 498.9
7月末	5,446	△ 3.1	—	△ 498.8
8月末	5,199	△ 7.5	—	△ 499.6
9月末	5,246	△ 6.7	—	△ 499.2
10月末	5,423	△ 3.5	—	△ 501.9
11月末	5,556	△ 1.2	—	△ 499.8
12月末	5,722	1.8	—	△ 499.8
2020年1月末	5,591	△ 0.6	—	△ 500.2
2月末	5,368	△ 4.5	—	△ 499.1
3月末	5,630	0.1	—	△ 504.3
期 末				
2020年4月13日	5,685	1.1	—	△ 501.3

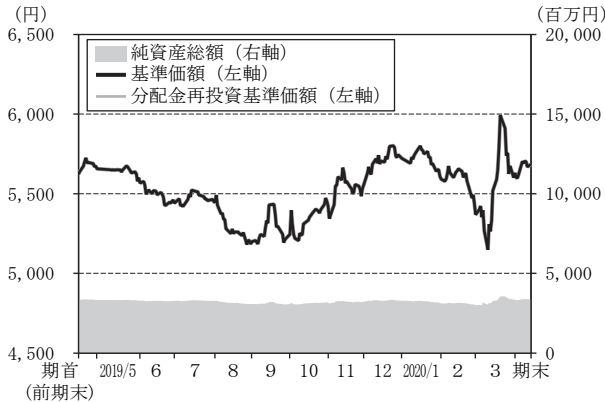
(注) 基準価額は1万口当たり。期末基準価額は分配金込み。騰落率は期首比。

(注) 先物比率=買建比率-売建比率

(注) 当ファンドは、比較対象として適切なものがないため、ベンチマークおよび参考指数を設定していません。

当期の運用状況と今後の運用方針

■ 基準価額等の推移



第7期首：5,622円

第7期末：5,685円 (既払分配金0円)

騰落率：1.1% (分配金再投資ベース)

注) 分配金再投資基準価額は、期首(2019年4月11日)の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

(注) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額の主な変動要因

長期金利(新発10年利付国債の利回り)が上昇したことが基準価額の上昇要因となり、期末は5,685円で終わり63円の上昇となりました。

■ 投資環境

【日本債券市況】

日本の長期金利は上昇しました。期初から2019年8月にかけては米中貿易摩擦の激化によるリスク回避の動きが強まる中、欧米中央銀行の金融緩和観測の高まりを受けた海外金利の低下に追隨して長期金利は低下しました。9月から2020年1月中旬にかけては、米中通商交渉が進展し、第一段階の合意に至ったことや、英国の合意なきEU(欧州連合)離脱に対する懸念が後退したことによる海外金利の上昇に追隨して、長期金利は上昇しました。1月下旬から3月上旬にかけては、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて世界経済の景気後退懸念が高まる中で、各国の中央銀行が利下げを余儀なくされるとの観測が高まり、海外金利の低下に追隨して長期金利は低下しました。3月中旬は世界的な財政支出拡大観測の高まりを受けた海外金利の上昇に加えて、リスク資産下落の対応のための益出しや、新型コロナウイルスの影響を巡る先行き不透明感を受けた運用リスク回避のための国債を売却する動きから、長期金利は上昇しました。3月下旬から期末にかけては、FRB(米連邦準備制度理事会)が国債とMBS(住宅ローン担保証券)の無制限の買入を決定するなど、各国の中央銀行の積極的な流動性供給策を受けて国債売却の動きは一服したことや、米欧で新型コロナウイルスの新規感染者数にピークアウトの兆しが見られなかったこと、日本では新規感染者数の増加傾向を受けて緊急事態宣言が発令されるリスクが意識されたことにより、長期金利は上昇幅を縮小しました。

■ 当該投資信託のポートフォリオ

国債証券先物取引（長期国債標準物）の売建額が、原則として信託財産の純資産総額の5倍程度になるように運用を行いました。

実際の運用に際しては、追加設定・解約や国債証券先物価格の変動に伴う運用資産の増減に対応して、日々の国債証券先物の売建比率が500%程度となるように調整売買を行いました。期末現在の国債証券先物の売建比率は、501.3%となりました。

また、現先取引については、期中の利回りが低位で推移したことから見送りました。

■ 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載していません。

■ 分配金

1万口当たりの分配金（税込み）は分配対象収益がないため、見送らせていただきました。

■ 今後の運用方針

国債証券先物の調整売買を行い、国債証券先物取引の売建額が、原則として信託財産の純資産総額の5倍程度になるよう運用を行ってまいります。

1 万口当たりの費用明細 (2019年 4 月12日から2020年 4 月13日まで)

費用の明細

項目	当期		項目の概要
	2019/4/12~2020/4/13		
	金額	比率	
平均基準価額	5,487円		期中の平均基準価額です。
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	32円 (16) (14) (2)	0.575% (0.293) (0.249) (0.033)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 運用財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料 (先物・オプション)	2 (2)	0.034 (0.034)	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) その他費用 (監査費用) (その他)	0 (0) (0)	0.005 (0.004) (0.001)	(c) その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、金銭信託に係る手数料
合計	34	0.614	

(注) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

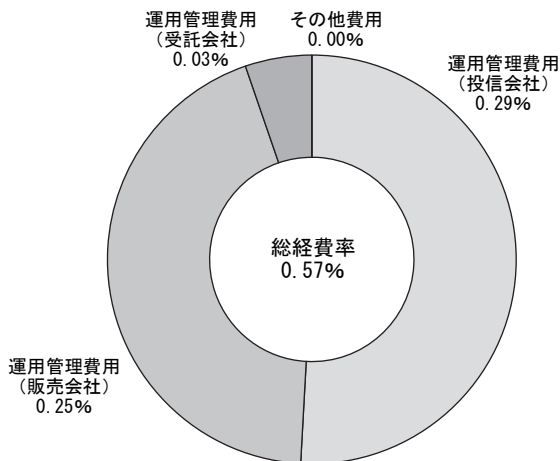
(注) 平均基準価額の円未満は切捨て、それ以外の各金額は項目ごとに四捨五入してあります。

(注) 「比率」欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

■総経費率

当中期の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は0.57%です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

売買および取引の状況 (2019年4月12日から2020年4月13日まで)

公社債

当期における売買はありません。

派生商品の取引状況等 (2019年4月12日から2020年4月13日まで)

先物取引の銘柄別取引・残高状況

銘柄別			買 建		売 建		当期末評価額		
			新買付額	決済額	新売付額	決済額	買建額	売建額	評価損益
国内債券	長期国債標準物	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	
		—	—	75,948	75,655	—	16,900	267	

(注) 単位未満は切捨て。

当期中の主要な売買銘柄 (2019年4月12日から2020年4月13日まで)

当期における該当取引はありません。

(注) 現先取引により取得したものは含みません。

利害関係人との取引状況等 (2019年4月12日から2020年4月13日まで)

当期における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細 (2020年4月13日現在)

(1) 国内(邦貨建)公社債

当期末における組入れはありません。

(2) 先物取引の銘柄別期末残高

銘柄別			当 期 末	
			買 建 額	売 建 額
国内	長期国債標準物	百万円	百万円	
		—	16,900	

(注) 単位未満は切捨て。

投資信託財産の構成 (2020年4月13日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	3,395,935	100.0
投資信託財産総額	3,395,935	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

資産、負債、元本および基準価額ならびに損益の状況

資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年4月13日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	3,395,753,448円
コール・ローン等	3,282,655,548
未 収 入 金	267,677,900
差 入 委 託 証 拠 金	△ 154,580,000
(B) 負 債	24,652,148
未 払 解 約 金	15,243,339
未 払 信 託 報 酬	9,331,248
未 払 利 息	5,845
そ の 他 未 払 費 用	71,716
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	3,371,101,300
元 本	5,929,502,434
次 期 繰 越 損 益 金	△ 2,558,401,134
(D) 受 益 権 総 口 数	5,929,502,434口
1万口当たり基準価額 (C / D)	5.685円

(注) 期首元本額 5,912,326,612円
 期中追加設定元本額 1,652,965,909円
 期中一部解約元本額 1,635,790,087円

(注) 元本の欠損
 当期末現在、純資産総額は元本を下回っており、その差額は2,558,401,134円です。

(注) 1口当たり純資産額は0.5685円です。

分配金の計算過程

計算期間末における費用控除後の配当等収益 (0円) および費用控除後の有価証券売買等損益 (0円) より、分配対象収益は0円 (1万口当たり0円) となりましたので、当期の分配は見送らせていただきました。

損益の状況

当期 自2019年4月12日 至2020年4月13日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 1,826,782円
受 取 利 息	185
支 払 利 息	△ 1,826,967
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	811
売 買 益	△ 60
売 買 損	871
(C) 先 物 取 引 等 取 引 損 益	70,234,353
取 引 益	586,961,201
取 引 損	△ 516,726,848
(D) 信 託 報 酬 等	△ 18,584,244
(E) 当期損益金 (A + B + C + D)	49,824,138
(F) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 506,522,207
(G) 追 加 信 託 差 損 益 金	△ 2,101,703,065
(配 当 等 相 当 額)	(△ 1,394,217)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 2,100,308,848)
(H) 合 計 (E + F + G)	△ 2,558,401,134
(I) 収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金 (H + I)	△ 2,558,401,134
追 加 信 託 差 損 益 金	△ 2,101,703,065
(配 当 等 相 当 額)	(△ 1,394,217)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 2,100,308,848)
繰 越 損 益 金	△ 456,698,069

(注) 損益の状況の中で

(B) 有価証券売買損益および(C)先物取引等取引損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(D) 信託報酬等には、信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(G) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

分配金のご案内

分配金および分配原資の内訳 (単位:円・%、1万口当たり・税引前)

項目	当期
	2019年4月12日 ～2020年4月13日
当期分配金	0
(対基準価額比率)	—
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	0

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

《お知らせ》

2020年1月10日適用で、信託期間を延長し、信託終了日を2021年3月15日から2024年3月15日とするよう約款変更を行いました。